

令和5年度 情報通信 シラバス

| | | | | | | |
|-------|-------------------------------------|-----|-----|--|----|----|
| 科目名 | 情報通信 | 教科名 | 情報 | | 校長 | 教頭 |
| 学年 | 3年 | 単位数 | 2単位 | | | |
| 使用教科書 | 「ホームページ作成検定試験模擬問題集」 (日本情報処理検定協会) | | | | | |

1. 学習の到達目標

パソコンソフトの有効な利用を通じて、ホームページ作成能力を身につけるとともに、情報化社会の中でコンピュータ活用能力の向上を図る。

2. 評価の観点及び評価基準

| ア. 関心・意欲・態度 | イ. 思考・判断・表現 | ウ. 技能 | エ. 知識・理解 |
|---|--|---|--|
| HTMLの作成に興味・関心を持っている。また、受け手を意識した表現技法に関心を持つようとしている。 | テーマに沿ったコンテンツを制作している。また、ハイパーリンクの構造が適切で、リンクが可能である。 | HTMLのタグを使って、Webページにテキストや画像などを入れることができる。制作したWebページが正しく表示できる。 | Webページ制作の流れを理解している。Webページ制作に必要なリンク構造を理解している。 |
| 具体例 | 具体例 | 具体例 | 具体例 |
| 出席状況、提出物、平常の学習活動、学習態度 | 授業中の発言内容 実技課題、定期考査 | 課題等の提出物 実技課題 | 課題等の提出物 定期考査 |

3. 観点別学習状況の評価の数量化

| 評価 | 内容 | 判定基準 | 得点 |
|----|-------------------|--------|----|
| A | 十分に理解できると判断できるもの | 80%以上 | 3 |
| B | おおむね満足できると判断できるもの | 50～70% | 2 |
| C | 努力を要すると判断されるもの | 50%未満 | 1 |

4. 各楽器および学年の評価方法

| 評価内容 | 100点法 | 5段階評価 |
|------------------------------|--------|-------|
| 十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のもの | 80～100 | 5 |
| 十分に満足できると判断されるもの | 65～79 | 4 |
| おおむね満足できると判断されるもの | 50～64 | 3 |
| 努力を要すると判断されるもの | 35～49 | 2 |
| 努力を要すると判断されるもののうち、特に程度の低いもの | 0～34 | 1 |

5. 年間学習指導計画

| 月 | 単元 | 指導内容 | 備考 | 配当 |
|----------|---|---|----------------------|----|
| 4 | 「HTML」とは | 1. ホームページとは 2. ホームページ作成の目的 | | 4 |
| 5 6 | ホームページ作成 (文字の表示) | 1. HTML の約束事の学習 2. 文字、文章の表示 3. 文章の編集、装飾 | メモ帳による作成 ブラウザで表示 | 16 |
| 7 | 学期のまとめ | 1. HTML 言語 タグによるHP作成 2. 作品制作、作品発表、評価 | メモ帳による作成 ブラウザで表示 | 2 |
| 9 | ホームページ作成 (画像の表示) | 1. 画像の表示、画像の編集 2. 装飾スキャナー等による画像取り込み 3. 表の作成方法 | イメージスキャナー、デジタルカメラの活用 | 16 |
| 10 11 | ホームページ作成 (応用) | 1. ラジオボックス・チェックボックス 選択リスト 2. サウンド 3. ネチケットについて | メモ帳による作成 ブラウザで表示 | 10 |
| 12 | 学期のまとめ | 2学期のまとめ、評価 作品制作、作品発表、評価 | | 2 |
| 1 2 | ホームページ作成 (ハイパーリンク) | 1. ハイパーリンクとは 2. さまざまなリンクの設定方法 3. 作品制作、作品発表、評価 | メモ帳による作成 ブラウザで表示 | 16 |
| 3 | 学期のまとめ | 学期のまとめ、評価 | | 4 |
| 年間総授業時間数 | | | | 70 |
| 評価方法 | 観点別評価（定期考査、実技課題、授業態度、出席状況等）を総合的に判断して評価する。 | | | |